



85. 11. 8
No. 2084

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

「スト破りはしない」「B変拒否」共に闘う 心ある国労の仲間、全国で連帯決起を開始

11月ストへ、拡がる共感と共闘

動労千葉のストライキ決起の方針は、全国の国鉄労働者・闘う労働者に圧倒的共感を呼びおこしている。中曽根の凶暴な攻撃に怒りに燃える労働者・労組が続々とストライキ支援決議をあげている。勝利の確信も固く、一切の反動をはねのけ、国鉄ゼネストの実現に向け、断固として十一月末第一波ストを貫徹しよう。

満場一致で「動労千葉スト支援」の特別決議
—国労津田沼電車区分会（10月31日） 青年部定期委員会—

十月三十一日、国労津田沼電車区分会青年部定期委員会において、「動労千葉スト支援」の特別決議が満場一致で決議された。

「・・・動労千葉の労働者は、首をかけた生活をかけ、十一月末ストライキに決起している。本当に『分割・民営化』に反対し、十万人首切りを許さないために、国鉄労働者として、国労として闘わねばならないのである。青年部は、重大な決意をもって動労千葉の十一月末ストに対し、『スト破りはしない』『B変仕業はやらない』等、できる全てをもって支援しなければならぬ。同じ職場の労働者として『分割・民営化』絶対阻止・十万人首切り粉碎に向けて動労千葉十一月末ストライキの支援に全力で取り組み、共に闘おう」。（分会青年部機関紙『こぶし』第二十七号より転載）

この国労の仲間の、しかも、当局との攻防の最大の拠点における熱い連帯に込め、確信固くストライキに決起しよう。思い上っている中曾根と当局（悪質職制）に目にも見せてやるだまっていたら、運転職場では二人に一人の首がとんでしまう。十月九日の合理化提案において当局は、十二万人におよぶ徹底的な合理化、系統別の合理化を一步も退くことなくやることを公言している。

どんなに当局に協力し、カーテンを三枚開け、ネクタイをしめ、名札をつけても、二人に一人という線は動かない。当局は、これでも労働者は何も言わないとたかをくくり、せいぜい文句を言うやつがいても処分をチラつかせれば屈服すると思いがっている。

これほどナメタ話があるか！
ここまでやられて仲間を売りわたしても生き残ろうとする動労「本部」など人間ではない。

今こそ、一切の怒りをときはなち、思いがっている当局・中曽根に目にも見せてやろう。十一月ストライキで反撃の突破口を切り拓こう。

全国の仲間と連帯し、「分割・民営化」阻止・中曽根打倒へつき進もう。

こぶし
全国の労働者団結せよ

定期委員会大成功 10万人首切りに反撃を

10月31日、青年部定期委員会が行われ、国労千葉青年部は、動労千葉のストライキ決起を支援し、満場一致で特別決議を採択した。

36回青年部定期委「分割民営化阻止」 青年部の総決起誓う

特別決議
動労千葉スト支援を
満場一致で決定。